

みなかみ読者ニュース

発行所 日本共産党みなかみ町委員会 みなかみ町相俣58
代表 林 誠行・連絡先 党利根沼田地区事務所 Tel.23-1519

◆穂苅清一議員・原沢良輝議員の活動をお知らせします。ご意見・ご要望をお寄せ下さい。

みなかみ町観光まちづくり協会

3200万円の不幸事件発覚で 須藤温会長ら31名を選出し、再スタート

6月29日、カルチャーセンター（上牧）で開催された観光協会の第2期の定期総会に、65人の会員が出席しました。活動、決算報告の中で、当初の事業や予算を大巾にオーバーして、業者への広告宣伝費などの未払金（3,194万3,819円）が発生したことを認め、あやまる場面がありました。

248人の会員のひとりである穂苅議員は、質疑で、この不適切な多額の使いすぎた会計処理について、その原因究明と当時の岩田会長の責任追及の必要性を発言しました。

執行部は、不正はなく、使途不明は一切ないと答え、今後の課題として引きつづき、この問題を調査し、責任を明らかにすることになりました。

定款と会の名称の変更及び役員選出も行われ、「みなかみ町観光協会」の名で、理事28人、監事3人の新体制で、2度とこのような過ちをくり返さない決意でスタートしました。尚、新事務局長には、石坂武氏（前・町総合政策課長）が、7月1日付で就任しました。

みなかみ町観光協会新役員名簿

会 長	須藤 温	（水上支部）
副会長	深津 卓也	（月夜野支部）
副会長	持谷 明宏	（新治地区）
副会長	高橋 宏之	（月夜野支部）
副会長	林 泉	（新治地区）
副会長	小橋 研二	（水上支部）
副会長	山田 直彦	（水上支部）
副会長（専務理事兼務）	小野 与志雄	（水上支部）

6月定例議会報告



町は、働く者の実態を何ら把握せず！
－派遣切りも企業倒産も関与せず－

穂苅清一議員は、6月12日の本会議で、町民の生命、住まいを守るうえで町の果たすべき役割が重要であることを指摘し、合併後の企業倒産等による町民の深刻な事実をあげ、町がどう把握しているか質問しました。

しかし、町長は、労働行政は国、県がやるべきことで、町はその実態をつかんでいないこと、倒産は民間企業の経済活動の結果なので、町は関与しない、と答弁しました。

また、町営住宅家賃滞納による明渡しで住まいを失う人が、増えていることについて、追い出された人への救済の手を差し伸べないのかと、問いました。町長は、今後もやむを得ない措置として法的手段（裁判）を取ると明言し、何ら反省の言葉はありません。合併後、すでに12人が退去しています。こんなことで良いのでしょうか。



3月に前橋公園で開かれた「ぐんま派遣村」につづき、6月28日沼田、太田で、この地域版が開かれました。

利根沼田派遣村は、大学教授、医師、行政書士、お寺の住職など11人の呼びかけにより結成され、事前のポスター張り、街頭宣伝で活動がつづきました。当日、十王公園でボランティア、相談者など含めて約150人が参加。炊き出し、雇用、生活保護、健康、サラ金などの相談に弁護士を含め、専門家が対応しました。完全にホームレスとなり、公園で野宿している人も相談に訪れ、労働の過酷な現場や、深刻な生活の実態がいくつも浮き彫りになりました。



150人集まった派遣村・開村式
沼田・十王公園

穂苅、原澤両議員も相談員として参加しました。

穂苅清一議員の一般質問

7月臨時議会

7月7日（火）
午前9時より
庁舎6階
ぜひ傍聴を

みなかみ町の 生活保護の実態は 2008年度（2009/3現在）

相 談 件 数	38件
生活保護申請	12件
保護開始決定	10件
受 給 世 帯 数	74世帯
受 給 者 数	85人
	（全国で163万人）

核兵器廃絶への町の責務は

平和宣言の看板の取付を検討

「核兵器廃絶平和の町宣言」を2006年9月に行ったみなかみ町は、現在、日本非核宣言自治体協議会に加入しています。（群馬県下では、沼田市など5市町村が加入）

穂苅議員は、4月にオバマ米大統領が核廃絶への決意を表明したことから、このことについて町の平和施策と責務について質しました。

町長は、日本がオバマ演説を支持して、世界において行動する重要性を強調しました。今後も平和式典など市民レベルで取り組むことを答弁。また、以前から庁舎に掲示してあった非核平和の町宣言の看板は、取付ける方向で検討すると課長が答えました。



お詫び

5月10日（No.106）のニュースで国保税大巾値上げに反対した議員は、4人でなく5人（倉澤長男議員）でした。訂正いたします。

原沢良輝議員の一般質問は次号で